

特別決議

4月16日未明に発災した熊本県を中心とする九州地震では、尊い命が犠牲となり、家屋の倒壊や大規模な土砂災害など、各地に甚大な被害を及ぼした。

東日本大震災に続き、はからずも私たちは再び大きな震災を経験することになったが、このような時にこそ、労働運動の原点である「助け合い、支え合い」により、社会的な役割を果たし、被災地の一日も早い復旧・復興に向け取り組んでいかなければならない。

6月1日通常国会が閉幕し、安倍首相は「新興国や途上国の経済が落ち込み、世界経済が大きなりスクに直面している」ことを理由に消費税増税を再延期した。

また、「ニッポン一億総活躍プラン」を閣議決定し、非正規労働者の待遇改善、奨学金制度の拡充、保育士や介護職員の処遇改善を行うとしているが、「アベノミクス」の限界が明らかなか中、恒久財源の裏付けについて説明ができておらず、実現に向けた政府の姿勢には強い疑念を抱かざるを得ない。

さらには、「高度プロフェッショナル制度」などの労働時間規制緩和が盛り込んだ労働基準法等改正案をはじめ、公的年金制度等改革法案など、問題の大きい法案が先送りとなったが、断固阻止しなければならない。

このような中、本地方委員会において第28回定期大会以降半年間の活動に対する総括と2016年度下期の活動計画について真摯に議論し、これを着実に実行していくことを全体で確認した。

連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」は、政府がめざすトリクルダウン型の政策ではなく、適正な所得再分配などによる格差是正を重視する政策である。

最重要課題である第24回参議院議員選挙では、「アベノミクス」の失敗により格差と貧困拡大を招いた政権与党の政策にストップをかけるため、連合山形4万5千組合員の総力を挙げて、すべての組織内比例候補者と、山形県選挙区「舟山やすえ」候補予定者の勝利をめざし戦い抜く。

連合山形は、「クラシノソコアゲ応援団！」キャンペーンなどの世論喚起を通じて、働く者、生活者の立場に立った政治勢力の拡大をはかり、社会全体に労働組合の必要性を訴えかけ、今こそ、すべての働く者の連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう。

以上、決議する。

2016年 6月10日
連合山形 第35回地方委員会